

湖北高校の企業取材授業が今期スタート

中小企業の魅力 取材で記事に

浜松市浜名区引佐町の浜松湖北高商業科3年生32人と同市中央区の総合エネルギー会社「エネジン」が協力し、地域の中小

企業の魅力を発掘する授業がこのほど、同校で始まった。企業への取材を通じて高校生目線の記事を作成し、ブログや紙媒体

浜松湖北高×エネジンで授業

などにまとめる。

17日の授業では、生徒は同社担当者から記事の書き方に関する説明を聞き、同校の魅力をPRするポスター、チラシの制作に取り組んだ。6月以降に取材活動として県西部の製造業、販売業など計12社を訪ね、社長や従業員らにインタビューする。

授業は、生徒のスキルアップや若者の人口流出防止、Uターン推進などを目的に、2016年度から実施している。

◀ポスターやチラシの制作に取り組む生徒
＝浜松市浜名区の浜松湖北高



湖北高校の企業取材の授業がスタート！

初日の授業では、ブログや紙媒体の記事の書き方の説明を受けた生徒たちが、同校の魅力をPRするためのポスターやチラシを作成。今後市内の企業を取材し、生徒自身のスキルアップや若者の人口流出防止にもつなげていく。

令和6年(2024年)5月21日(火) 静岡新聞

